

## 令和元年度 第5回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和元年7月4日（木） 16時00分から17時30分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、木下副市長、寺澤総務部長、櫻井総合政策部長、細田リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長（部長代理土屋ムトスまちづくり推進課長）、清水健康福祉部長代理高山子育て支援課長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、北澤危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長代理馬場文化財担当課長、赤羽目消防長兼総合政策部付参事代理有賀消防次長兼総務課長、原田秘書広報課長、塚平財政課長、田中企画課長

### 会議内容

#### 1 理事者あいさつ

##### <市長>

まず、7/3～4にかけての大雨に対応された職員各位に感謝申しあげる。また、市政懇談会については、既に6地区で開催されているが、反省点などあれば速やかに改善をしていただきながら、引き続きの対応をお願いしたい。

今後は、来年度の予算編成事務も始まり、様々な大きな業務に取り組んでいただくが、職員の働き方や仕事の仕方について職場ごと点検しながら進めていただきたい。

#### 2 協議事項

##### (1) 令和2年度当初予算編成手法について（総務部、総合政策部）

◇趣旨：行財政改革の取組み強化とあわせて、次年度の予算編成手法について見直しを行う。

##### ◇論点・課題

- ・ 予算要求段階までに事業効果や組立に関して十分な議論を行うと共に、効果の高い重点事業を絞りこむための評価シート作成と事前協議を早い段階から行う。
- ・ 重点事業の全体像を早く把握することで、数年先を見通した計画的な査定を行う。

##### ◇主な意見等

(病院事務局長) 計画をきちんと評価して、予算全体とあわせてコントロールできる効果的なマネジメントが不可欠。重点事業を整理する上でも、計画に対する評価の議論は重要であると思う。

(総合政策部長) 市の計画に対して議会や市民からいただく評価をふまえ、担当部局が課題把握を行い、戦略計画以外の計画等も含めて見直した事業を、さらに重点事業として磨きあげる仕組みとしたい。

(市長公室長) 例年、評価を行い課題認識した上で予算編成に取り組むが、理事者協議までに事業予算の組立てが間に合わないケースも見られる。それに対する改善策は必要と思う。

(総合政策部長) 戦略計画は部をまたいだ取組みもあるが、予算編成は各部単位で進めているため、そこがかみ合うような工夫もしていきたい。

(建設部長) 前年度までの重点事業の捉え方にあった「ひと工夫する」という考え方は継続ということによいか。

(総合政策部長) それをふまえて、重点事業について十分な議論の場を作っていくためにも、今回の見直しを行いたい。

##### ◇協議結果

部長会了承

##### (2) 平成30年度戦略計画の評価について（総合政策部）

◇趣旨：平成30年度の戦略計画について、基本目標・小戦略・当事者目標の評価シートを作成、整理をしていただき、それをもとに行政評価を進めていく。

##### ◇論点・課題

- ・議会による行政評価の流れとしては、分科会毎に指定された基本目標と分野別計画について説明、議論していただくことになる。
- ・今後の流れとしては、各課で最終確認を行い、修正があれば7月8日までに企画課にご連絡いただき、最終校正をして資料を7月11日までに議会へお渡りする。

#### ◇主な意見等

- (市長公室長) 議会評価にあたって、実績の振り返りは重要であるが、そこに労力をかけすぎて、次年度以降にどう評価を生かしていくかの議論や実行が追いつかないことがないようにバランスを見ながら業務を進める意識も重要だと思う。
- (ムトスマちづくり推進課長) 戦略計画の評価にあたり3段階のシートを作成する事務労力が簡素化できる工夫も今後考えていただければありがたい。
- (産業経済部長) 議会評価において30年度実績を受けて31年度計画への反映に対する捉え方はどうか。
- (議会事務局長) 評価の時間は限られているため、説明の中で30年度実績を受けて31年度計画に反映された事項があれば加えて説明していただくと評価しやすいと考えている。

#### ◇協議結果

部長会了承

### 3 報告事項

#### (1) 公用車の事故発生状況と今後の取組みについて(総務部)

◇趣旨：4月から6月にかけて発生した公用車および通勤中・公務外の交通事故の事案を部長会議で共有し、今後の交通事故の防止に取り組む。

#### ◇論点・課題

- ・昨年からの事故ゼロチャレンジに取組み、前年度実績に比べて事故件数は減少しており、効果はでていますが、7月から9月はイベント等が多いため、改めて庁内への周知を図り事故防止の取組みを推進する。

#### ◇主な意見等

特になし

#### (2) 令和元年度市政懇談会の状況と経過について(市民協働環境部)

◇趣旨：資料に基づき、終了した6地区の市政懇談会の状況報告と、今後の開催地区で計画されている懇談内容(地域課題等)について説明。

#### ◇主な意見等

- (副市長) 市政懇談会のフリートークでは様々な意見、要望などの意見が出されるが、その発言に関する状況把握を十分にした上で回答することを改めて意識してほしい。
- (市長) フリートークで出される意見について、懇談会の場で全て結論をだせない場合もあると思われるが、出された課題をしっかりと捉え、市民の皆様に対して真摯な対応を心掛けてほしい。

#### (3) 松川及び遠山川にかかる浸水想定について(危機管理室)

◇趣旨：松川、遠山川に関する想定最大規模浸水の想定図の概要説明

#### ◇論点・課題

- ・松川、遠山川の浸水想定図作成は県が担当となっており、今回完成した想定図が近日中に公表される予定。
- ・7月5日に県担当者を招いて、庁内の担当部局向けに詳細説明会を行う。
- ・想定図は最大被害(千年に一度の確率)を想定した図であり、市民の皆様に対しては防災意識を高めていただく参考資料として示していく。

#### ◇主な意見等

(総務部長) 他の河川について今後作成される予定はあるのか

(危機管理室長) 県が作成する河川は市内では松川と遠山川のみということ。

(市長) 避難指示をする行政の立場として、被害想定は大切であるが最大規模想定という広範囲に向けた避難指示（例えば全市対象）は避難所のキャパを考えても現実的ではなく、判断が非常に難しいと認識している。レッドゾーンのようにエリアや条件を絞り込んだ適切な避難指示が重要である。

(副市長) 河川浸水被害については川の増水状況や周辺の土砂災害などの条件を見極めて判断するものであるので、そういった状況把握にしっかり努めてほしい。

#### 4 その他、連絡事項

##### ・支出伝票の返戻状況について（会計課）

適正な会計事務の執行を目的として実施した4月から6月の伝票返戻調査の結果を報告。返戻の要因等については担当課に直接指示をしている他、7月18日には会計事務担当者への説明会も実施する予定。引き続き適正な会計事務に努めていただくようお願いしたい。

#### 5 閉会